

経営比較分析表（平成29年度決算）

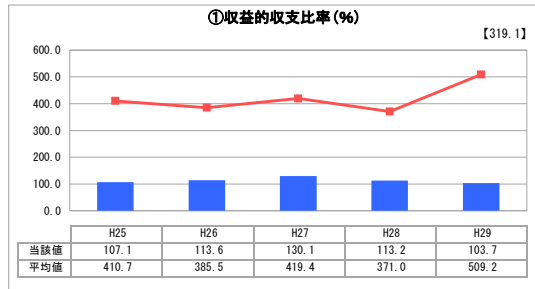
岐阜県高山市 広小路駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	48	

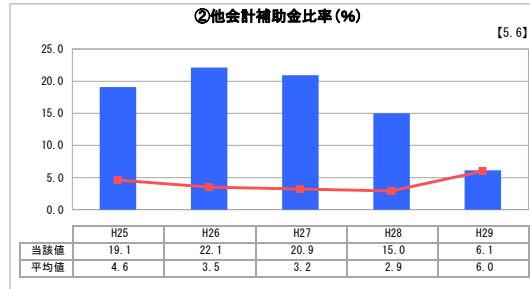
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	有	1,201
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
33	300	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

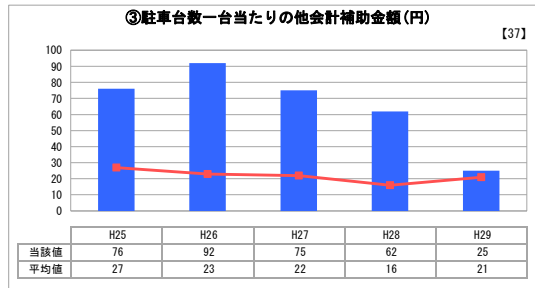
1. 収益等の状況



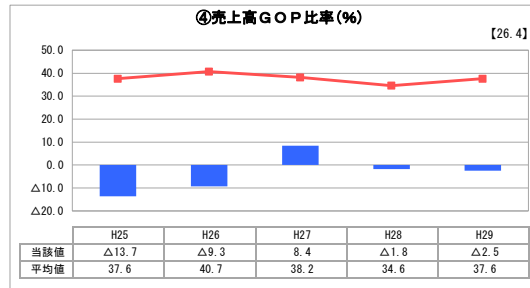
「経常損益」



「他会計補助金割合」

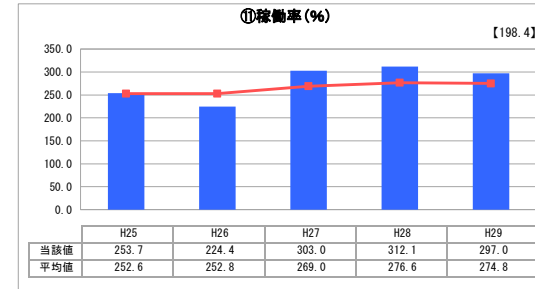


「他会計補助金額」

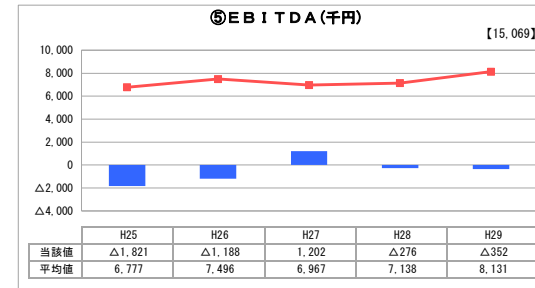


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

分析欄

1. 収益等の状況について
 ・収支比率は類似施設と比べ下回っている。なお、他会計補助金比率や駐車台数一台あたりの他会計補助金額が類似施設平均を上回っているのは、当事業が指定管理者制度を導入しており、駐車場の管理運営収益を納入金として普通財産で受け入れ、当施設の必要経費を普通会計からの補助金収入として経理しているためである。平成27年度において売上高GOP比率及びEBITDAが上昇している理由は職員異動に伴い営業費用が減少したことによるものである。

2. 資産等の状況について
 ・有形固定資産は普通会計の財産として保有しており、減価償却等の経理は行われていない。しかしながら、老朽化は進んでいるため今後、計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について
 ・高速道路の改良推進により、都市部からの利用者が多く、観光場所に近いため、収容台数が少ないため満車となることも多く、時間帯によっては非常に回転率が高い。

2. 資産等の状況

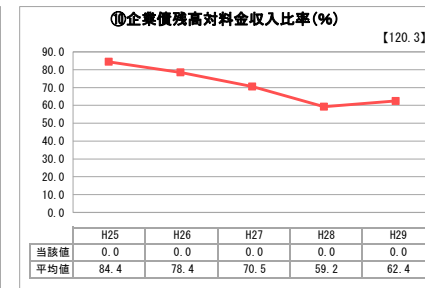


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)	178,949
⑧設備投資見込額(千円)	15,521



「累積欠損」



「債務残高」

全体総括
 ・当事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が多く、主要道路の渋滞緩和対策として市街地周辺に設置しているものである。近年は民間駐車場が増加しているなど設置当初と状況は変わってきており、現在策定中の公共施設等総合管理計画の個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の定点実施や市街地の歩行者を含めた交通量調査を実施しており、より効果的な駐車場誘導体制の確立や安定した経営に努める。

経営比較分析表（平成29年度決算）

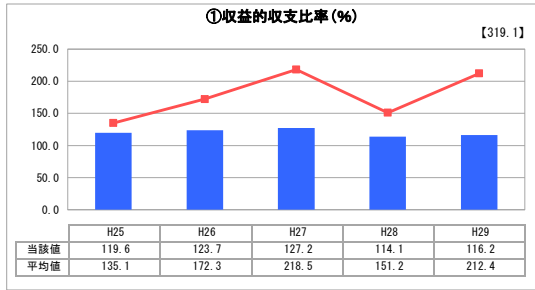
岐阜県高山市 神明駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	立体式	48	

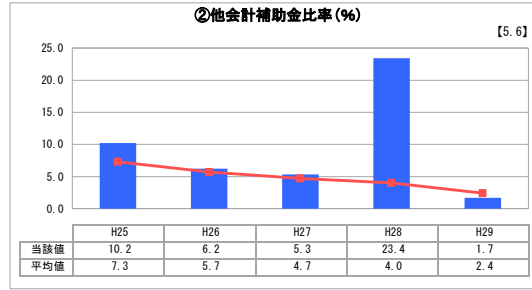
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	2,508
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
111	300	利用料金制

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

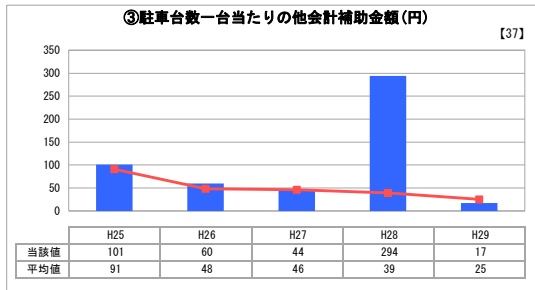
1. 収益等の状況



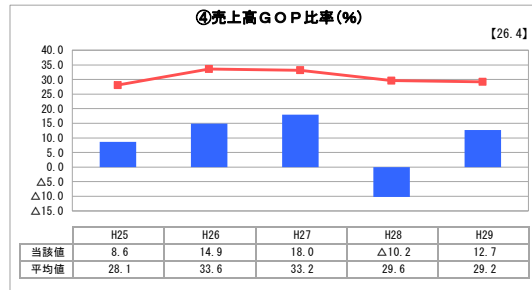
「経常損益」



「他会計補助金割合」

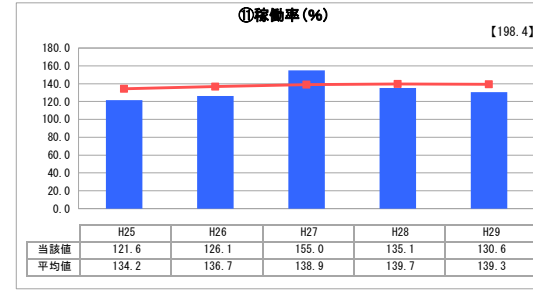


「他会計補助金額」

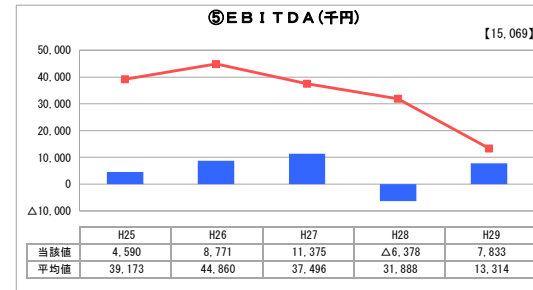


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況



「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)

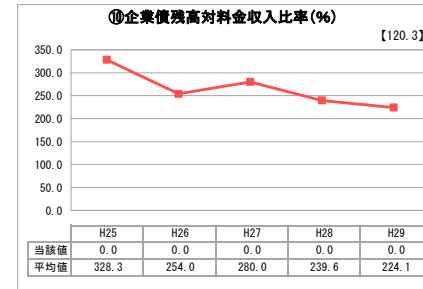
371,901

⑧設備投資見込額(千円)

34,716



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
 ・収支比率は類似施設と比べ上回っている。なお、他会計補助金比率や駐車台数一台あたりの他会計補助金額が類似施設平均を上回っているのは、当事業が指定管理者制度を導入しており、駐車場の管理運営収益を納入金として普通財産で受け入れ、当施設の必要経費を普通会計からの補助金収入として経理しているためである。なお、平成28年度他会計補助金比率の増加、収益的収支比率、売上高GOP比率及びEBITDAが減少している理由は営業費用である施設整備費（トイレ増設）が増加した結果である。

2. 資産等の状況について
 ・有形固定資産は普通会計の財産として保有しており、減価償却等の経理は行っていない。しかしながら、老朽化は進んでいるため今後、計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について
 高速度道路の改良推進により、都市部からの利用者が多く、駅や観光場所に近いため、収容台数が少ないため満車となることも多く、時間帯によっては非常に回転率が高い。また、観光場所から一番近い大型バス駐車場であり、リピーターが多く大型バス区画にも関わらず、回転率は普通車以上となっている。

全体総括
 ・当該事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が多く、主要道路の渋滞緩和対策として市街地周辺に設置しているものである。近年は民間駐車場が増加しているなど設置当初と状況は変わってきており、現在策定中の公共施設等総合管理計画の個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の定点実施や市街地の歩行者を含めた交通量調査を実施しており、より効果的な駐車場誘導体制の確立や安定した経営に努める。

経営比較分析表（平成29年度決算）

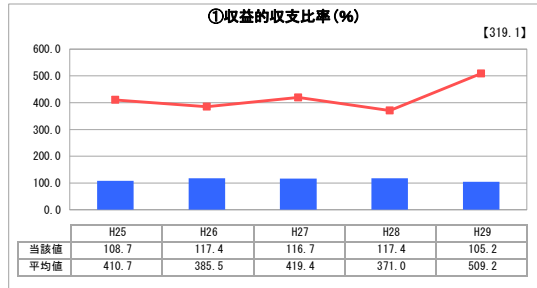
岐阜県高山市 弥生橋駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	46	

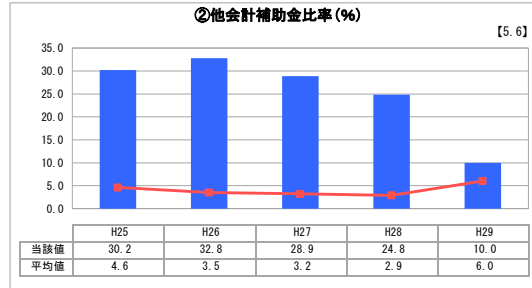
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	800
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
21	300	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

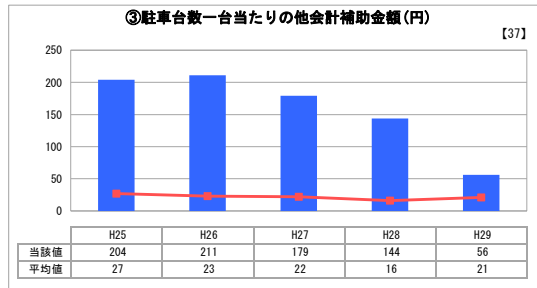
1. 収益等の状況



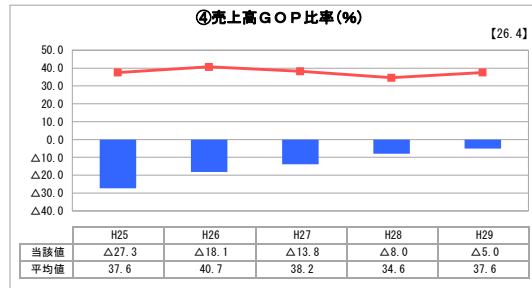
「経常損益」



「他会計補助金割合」

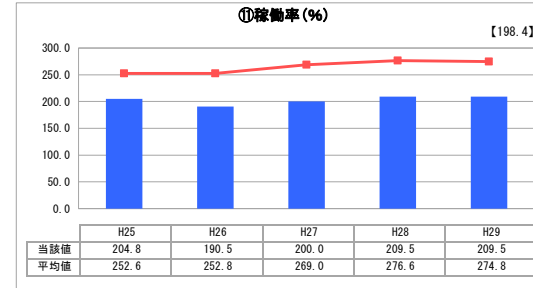


「他会計補助金額」

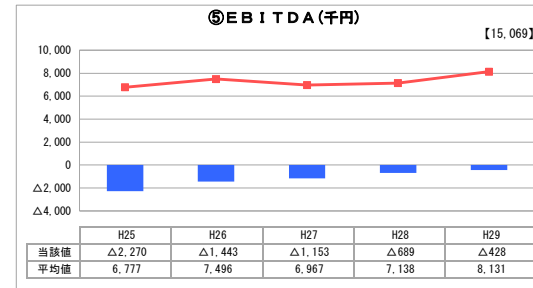


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況

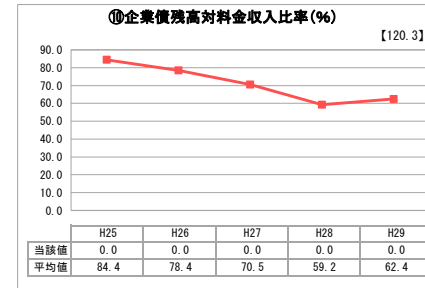


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)	90,400
⑧設備投資見込額(千円)	16,731



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
 ・収支比率は類似施設と比べ下回っている。なお、他会計補助金比率や駐車台数一台あたりの他会計補助金額が類似施設平均を上回っているのは、当事業が指定管理者制度を導入しており、駐車場の管理運営収益を納入金として普通財産で受け入れ、当施設の必要経費を普通会計からの補助金収入として経理しているためである。

2. 資産等の状況について
 ・有形固定資産は普通会計の財産として保有しており、減価償却等の経理はおこなっていない。しかしながら、老朽化は進んでいるため今後、計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について
 高速道路の改良推進により、都市部からの利用者が多く、観光場所に近いが、収容台数が少ないため満車となることも多く、時間帯によっては非常に回転率が高い。

全体総括
 ・当該事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が多く、主要道路の渋滞緩和対策として市街地周辺に設置しているものである。近年は民間駐車場が増加しているなど設置当初と状況は変わってきており、現在策定中の公共施設等総合管理計画の個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の定点実施や市街地の歩行者を含めた交通量調査を実施しており、より効果的な駐車場誘導体制の確立や安定した経営に努める。

経営比較分析表（平成29年度決算）

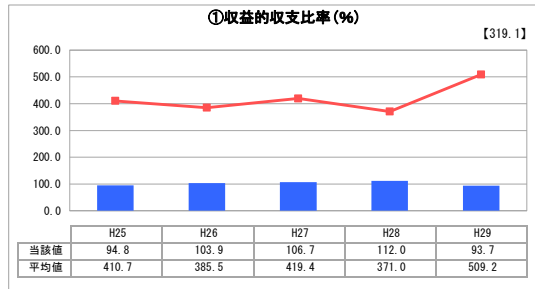
岐阜県高山市 えび坂駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	29	

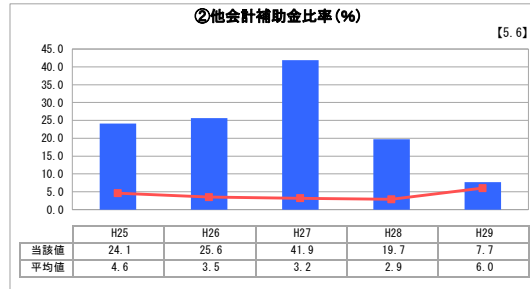
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	1,929
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
55	300	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

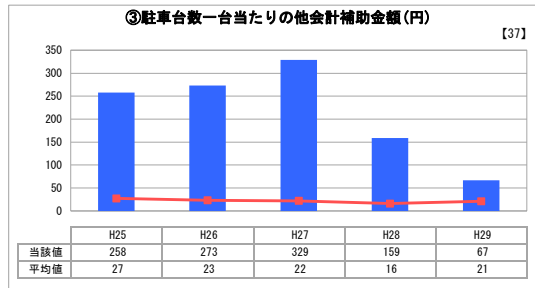
1. 収益等の状況



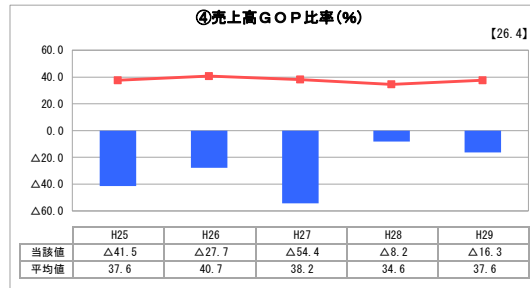
「経常損益」



「他会計補助金割合」

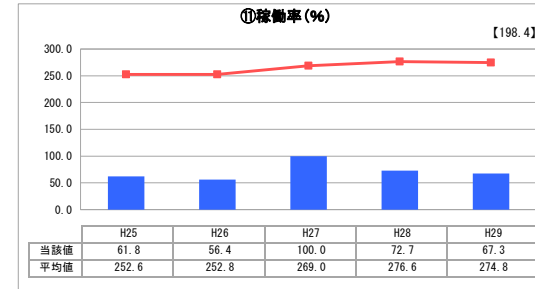


「他会計補助金額」

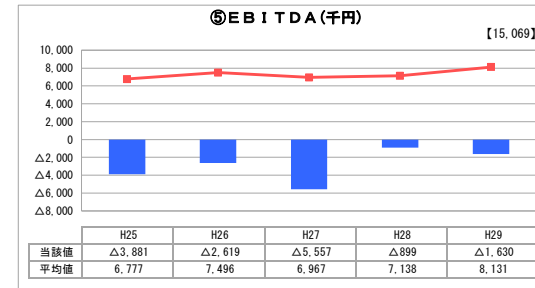


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

分析欄

1. 収益等の状況について
 ・収支比率は類似施設と比べ下回っている。なお、他会計補助金比率や駐車台数一台あたりの他会計補助金額が類似施設平均を上回っているのは、当事業が指定管理者制度を導入しており、駐車場の管理運営収益を納入金として普通財産で受け入れ、当施設の必要経費を普通会計からの補助金収入として経理しているためである。平成27年度において売上高GOP比率及びEBITDAが減少している理由は営業費用として施設整備費（外観改修）が増加した結果である。

2. 資産等の状況について
 ・有形固定資産は普通会計の財産として保有しており、減価償却等の経理は行っていない。しかしながら、老朽化は進んでいるため今後、計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について
 高速道路の改良推進により、都市部からの利用者が多く、観光場所に近いが、収容台数が少ないため満車となることも多く、土日祝日は時間帯によって非常に回転率が高い。平成27年度の稼働率上昇の要因は観光シーズンに道路工事の影響により他の駐車場から利用者が流れていたものである。

全体総括
 ・当該事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が多く、主要道路の渋滞緩和対策として市街地周辺に設置しているものである。近年は民間駐車場が増加しているなど設置当初と状況は変わってきており、現在策定中の公共施設等総合管理計画の個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の定点実施や市街地の歩行者を含めた交通量調査を実施しており、より効果的な駐車場誘導体制の確立や安定した経営に努める。

2. 資産等の状況

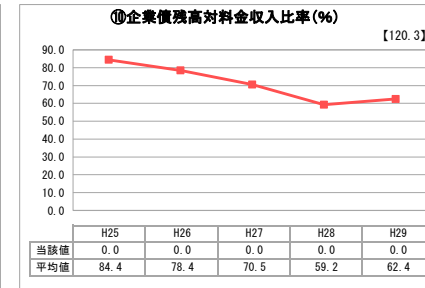


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)	181,326
⑧設備投資見込額(千円)	16,401



「累積欠損」



「債務残高」

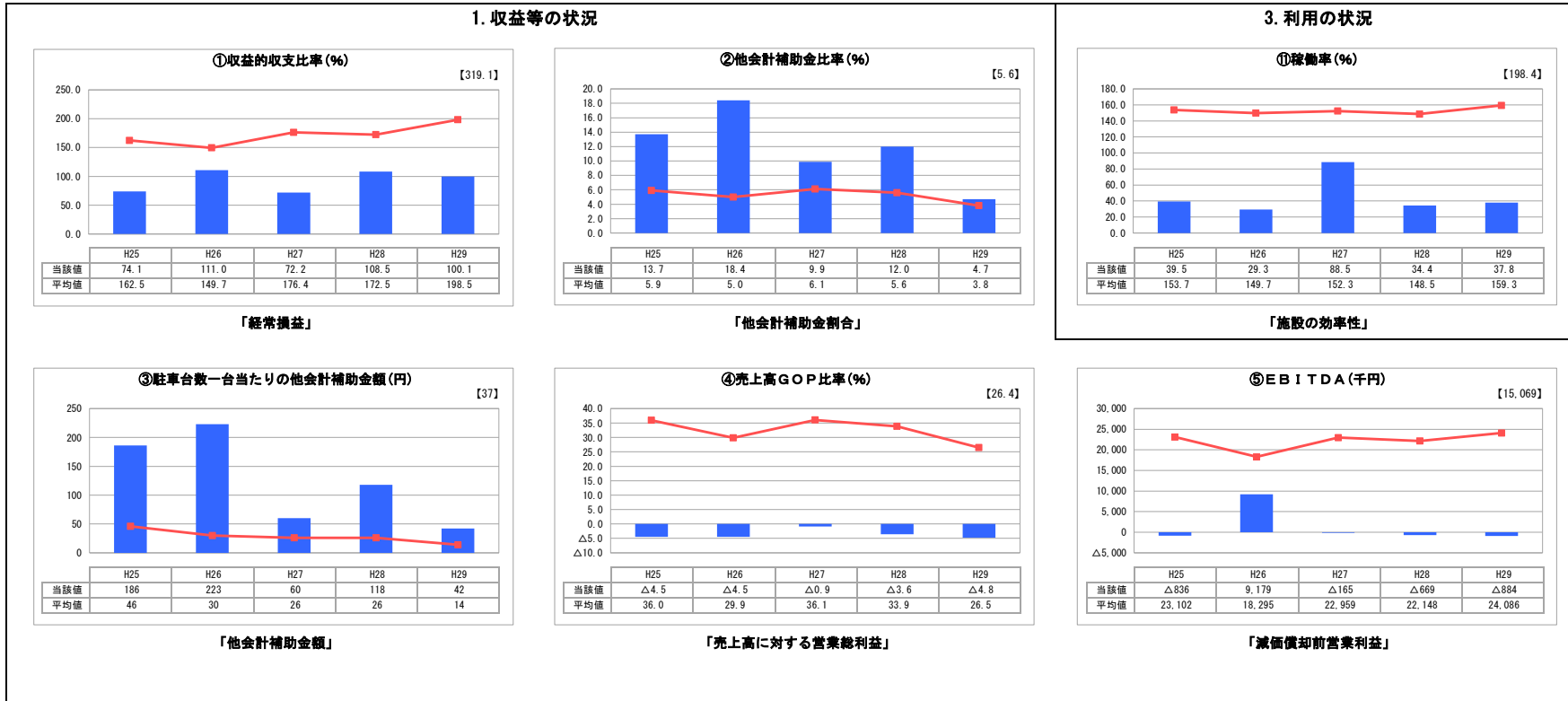
経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県高山市 花岡駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	立体式	22	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	有	11,871
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
156	300	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

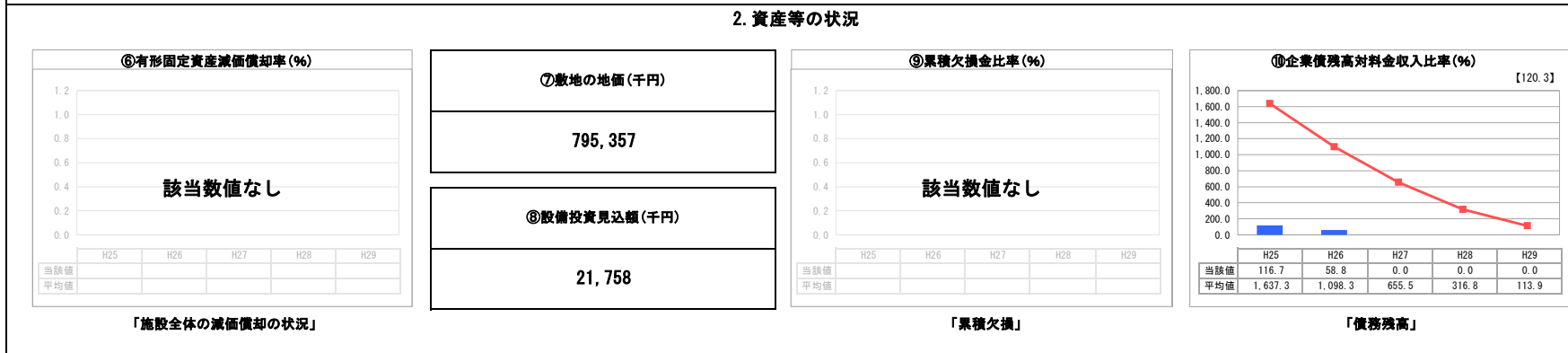


分析欄

1. 収益等の状況について
 ・収支比率は類似施設と比べ下回っている。なお、他会計補助金比率や駐車台数一台当たりの他会計補助金額が類似施設平均を上回っているのは、当事業が指定管理者制度を導入しており、駐車場の管理運営収益を納入金として普通財産で受け入れ、当施設の必要経費を普通会計からの補助金収入として経理しているためである。平成28年度の収益的収支比率及び他会計補助金比率が上昇した要因は、収支の大部分を占めていた地方債償還が終了したためである。

2. 資産等の状況について
 ・有形固定資産は普通会計の財産として保有しており、減価償却等の経理は行われていない。しかしながら、老朽化は進んでいるため今後、計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について
 当駐車場は市役所本庁舎横に設置しており、来庁者の駐車場として機能している。また、土日祝日は観光客の駐車場として機能している。



全体総括
 ・当事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が多く、主要道路の渋滞緩和対策として市街地周辺に設置しているものである。近年は民間駐車場が増加しているなど設置当初と状況は変わってきており、現在策定中の公共施設等総合管理計画の個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の定点実施や市街地の歩行者を含めた交通量調査を実施しており、より効果的な駐車場誘導体制の確立や安定した経営に努める。

経営比較分析表（平成29年度決算）

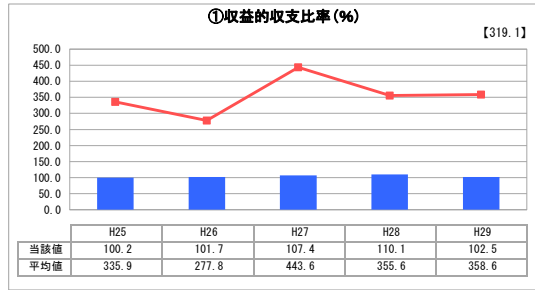
岐阜県高山市 空町駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	20	

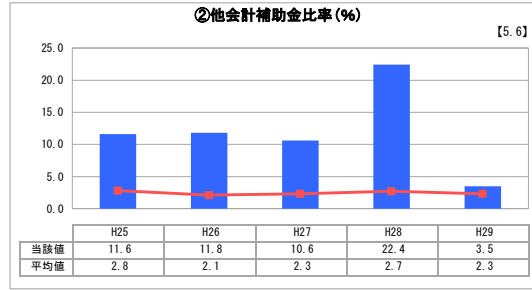
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	有	4,974
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
132	300	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

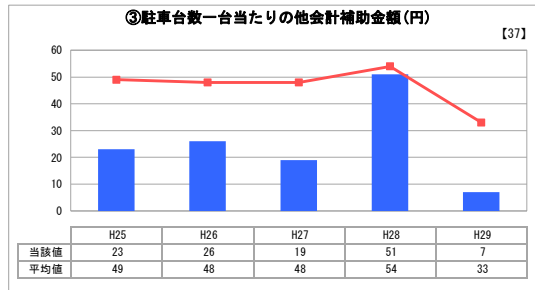
1. 収益等の状況



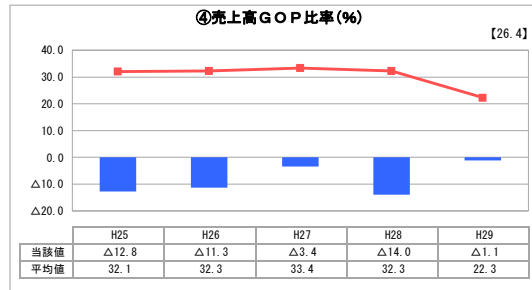
「経常損益」



「他会計補助金割合」

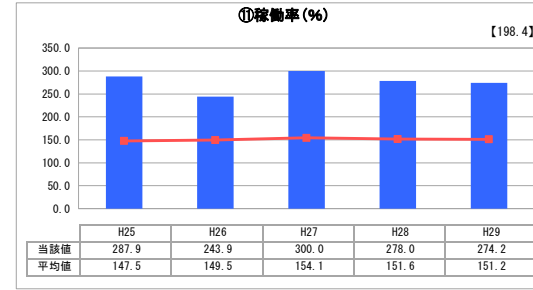


「他会計補助金額」

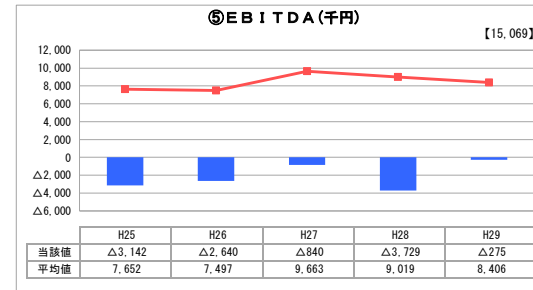


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

分析欄

1. 収益等の状況について
 ・収支比率は類似施設と比べ下回っている。なお、他会計補助金比率や駐車台数一台あたりの他会計補助金額が類似施設平均を上回っているのは、当事業が指定管理者制度を導入しており、駐車場の管理運営収益を納入金として普通財産で受け入れ、当施設の必要経費を普通会計からの補助金収入として経理しているためである。収益的収支比率、売上高GOP比率及びEBITDAが下降傾向にある理由は、駐車料金が無料となる図書館利用者の増加に伴う結果であり、平成28年度の駐車台数一台当りの他会計補助金の増加は施設整備費（石垣よう壁修繕）によるものである。

2. 資産等の状況について
 ・有形固定資産は普通会計の財産として保有しており、減価償却等の経理は行われていない。しかしながら、老朽化は進んでいるため今後、計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について
 当駐車場は市立図書館に設置しており、来館者の駐車場としてまた、観光客の駐車場として機能している。安定した利用状況である。図書館利用者は駐車場利用料が無料であるため、図書館利用者が増加することにより、稼働率は上昇するものの収益率は減少する傾向がある。

2. 資産等の状況

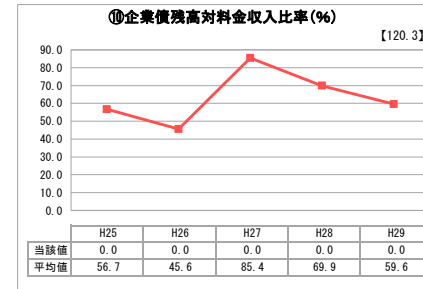


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)	477,504
⑧設備投資見込額(千円)	17,446



「累積欠損」



「債務残高」

全体総括

・当事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が多く、主要道路の渋滞緩和対策として市街地周辺に設置しているものである。近年は民間駐車場が増加しているなど設置当初と状況は変わってきており、現在策定中の公共施設等総合管理計画の個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の定点実施や市街地の歩行者を含めた交通量調査を実施しており、より効果的な駐車場誘導体制の確立や安定した経営に努める。

経営比較分析表（平成29年度決算）

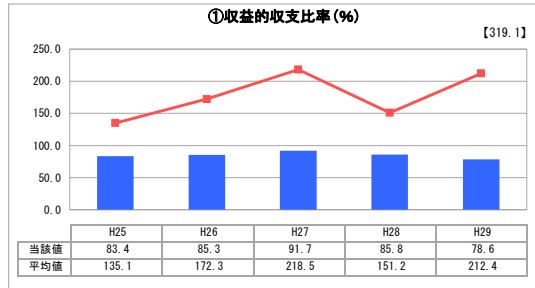
岐阜県高山市 かじ橋駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	立体式	19	

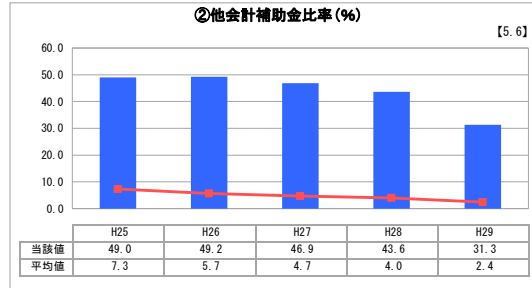
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	922
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
52	300	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

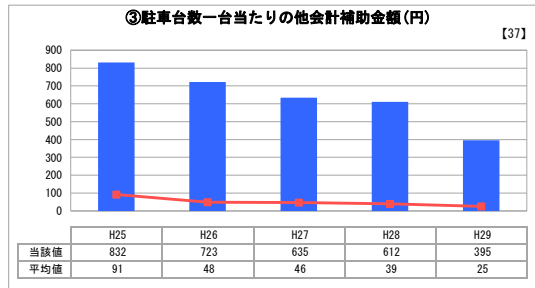
1. 収益等の状況



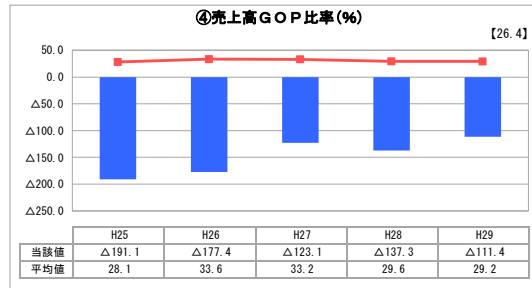
「経常損益」



「他会計補助金割合」

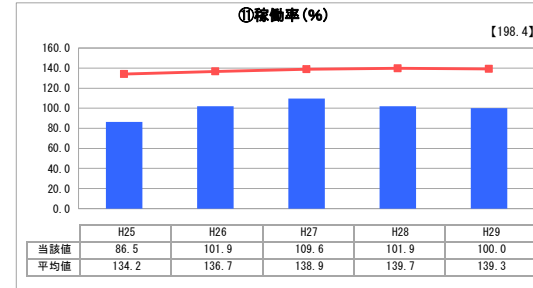


「他会計補助金額」

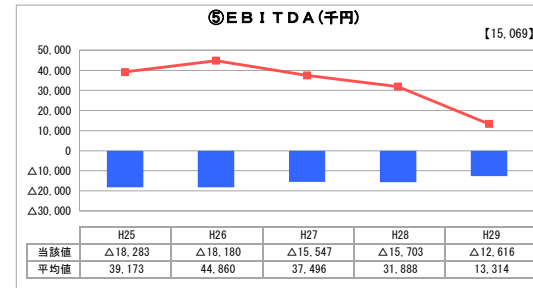


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況

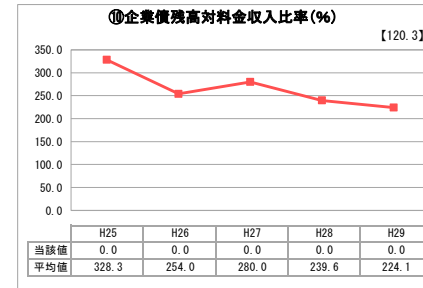


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)	52,992
⑧設備投資見込額(千円)	20,031



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
 ・収支比率は類似施設と比べ下回っている。なお、他会計補助金比率や駐車台数一台あたりの他会計補助金額が類似施設平均を上回っているのは、当事業が指定管理者制度を導入しており、駐車場の管理運営収益を納入金として普通財産で受け入れ、当施設の必要経費を普通会計からの補助金収入として経理しているためである。売上高GOP比率及びEBITDAが改善傾向にある理由は駐車場利用者の増加と施設整備費（機械式駐車場部品交換）が減少した結果である。

2. 資産等の状況について
 ・有形固定資産は普通会計の財産として保有しており、減価償却等の経理は行われていない。しかしながら、老朽化は進んでいるため今後、計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について
 当駐車場は商店街中心部に位置する機械式立体駐車場であり、市内商店街の客や観光場所の重要な駐車場となっている。また、近隣ホテル宿泊者の駐車場としても利用されている。利用状況は安定している。

全体総括
 ・当事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が多く、主要道路の渋滞緩和対策として市街地周辺に設置しているものである。近年は民間駐車場が増加しているなど設置当初と状況は変わってきており、現在策定中の公共施設等総合管理計画の個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の定点実施や市街地の歩行者を含めた交通量調査を実施しており、より効果的な駐車場誘導体制の確立や安定した経営に努める。

経営比較分析表（平成29年度決算）

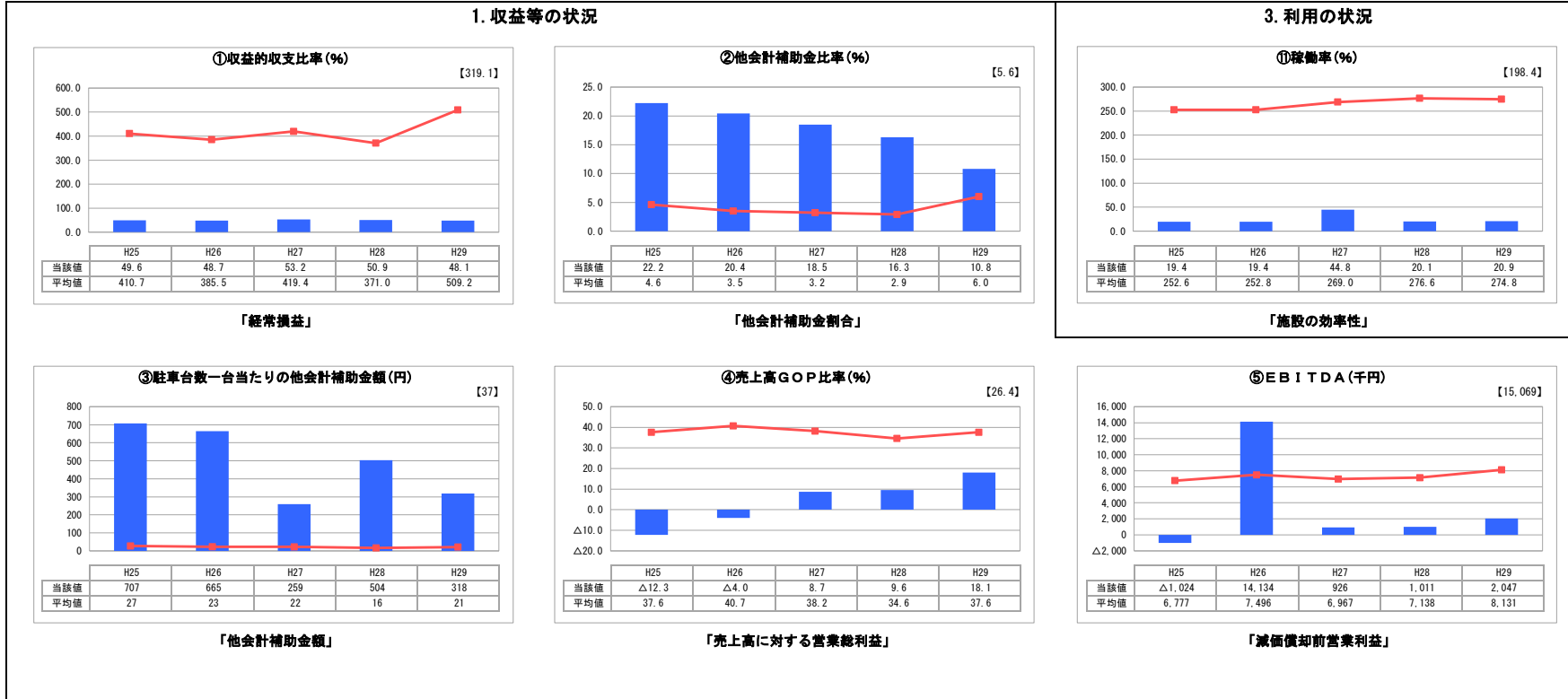
岐阜県高山市 天満駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	18	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	4,308
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
134	300	利用料金制

グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

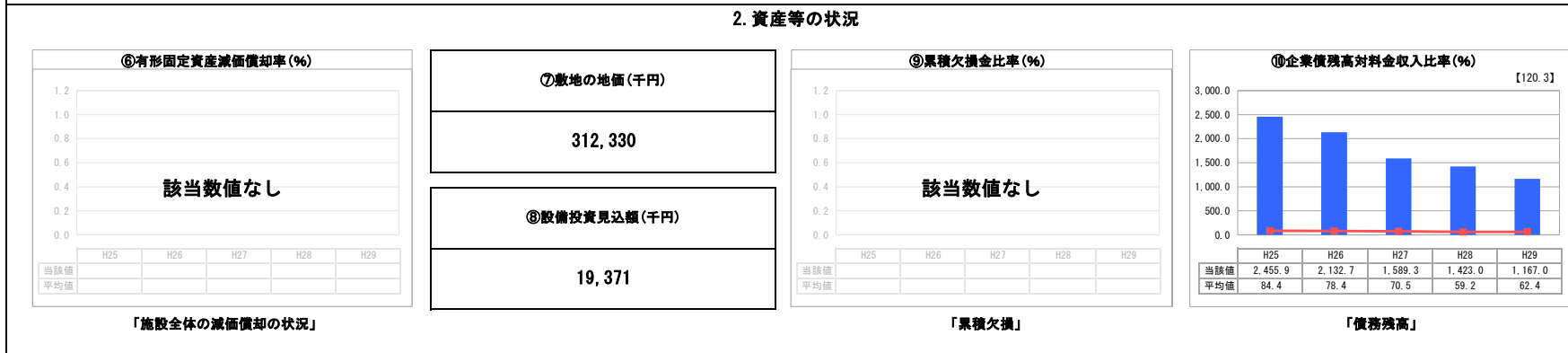


分析欄

1. 収益等の状況について
 ・収支比率は類似施設と比べ下回っている。なお、他会計補助金比率や駐車台数一台あたりの他会計補助金額が類似施設平均を上回っているのは、当事業が指定管理者制度を導入しており、駐車場の管理運営収益を納入金として普通財産で受け入れ、当施設の必要経費を普通会計からの補助金収入として経理しているためである。収益的収支比率、売上高GOP比率及びEBITDAが減少している理由は企業償還金（敷地購入）があるためである。

2. 資産等の状況について
 ・有形固定資産は普通会計の財産として保有しており、減価償却等の経理はおこなっていない。しかしながら、老朽化は進んでいるため今後、計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について
 当駐車場は大型ショッピングモールや総合病院等に近く、定期利用者やショッピングモール利用者が駐車場を利用している。また、大型バス駐車区画を設置しており、市内中心部の大型バス駐車場が満車時には市内渋滞の緩和としてバス誘導を実施している。同駐車場は年間では稼働率が低い観光シーズン等の繁忙期は市内中心部の渋滞対策として重要な外縁部駐車場として機能している。



全体総括
 ・当該事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が多く、主要道路の渋滞緩和対策として市街地周辺に設置しているものである。近年は民間駐車場が増加しているなど設置当初と状況は変わってきており、現在策定中の公共施設等総合管理計画の個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の定点実施や市街地の歩行者を含めた交通量調査を実施しており、より効果的な駐車場誘導体制の確立や安定した経営に努める。

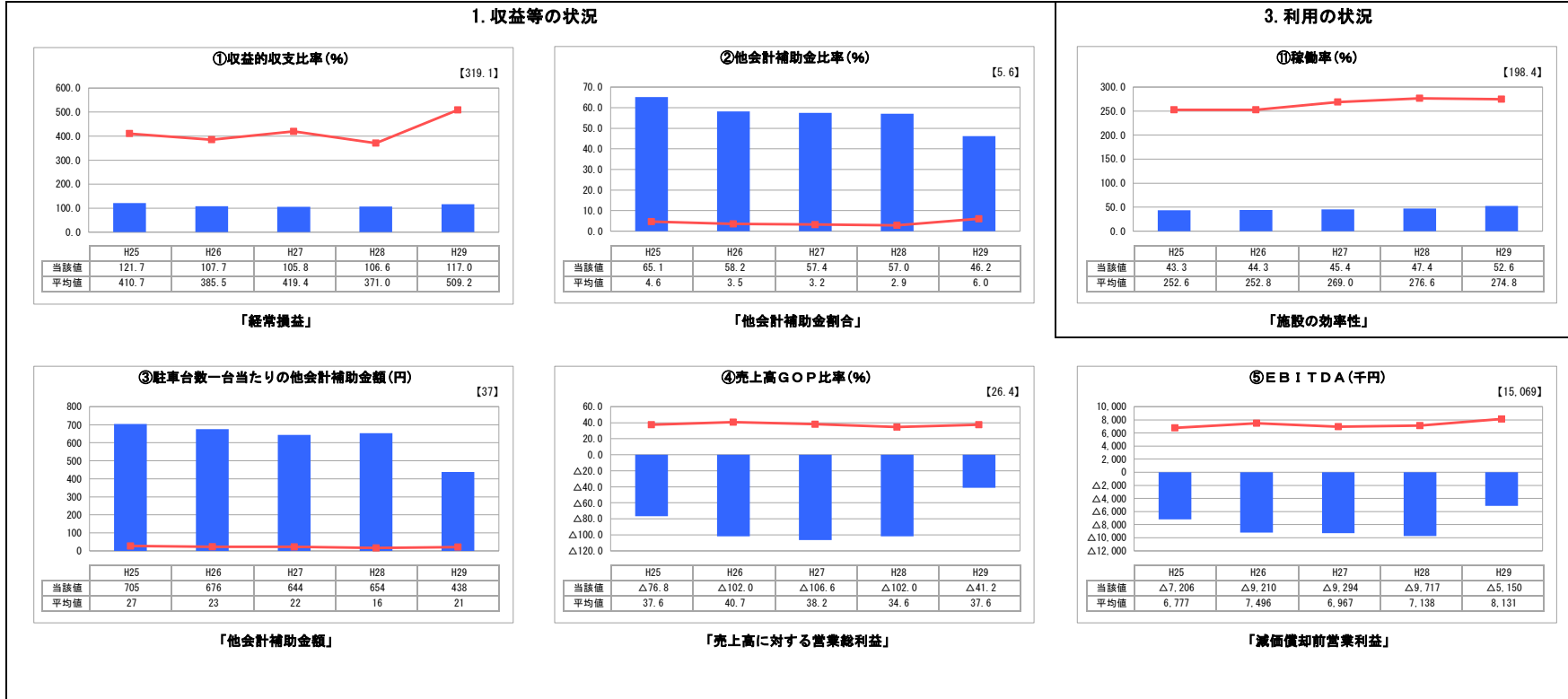
経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県高山市 不動橋駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	14	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	3,826
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
97	300	利用料金制

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
【	平成29年度全国平均

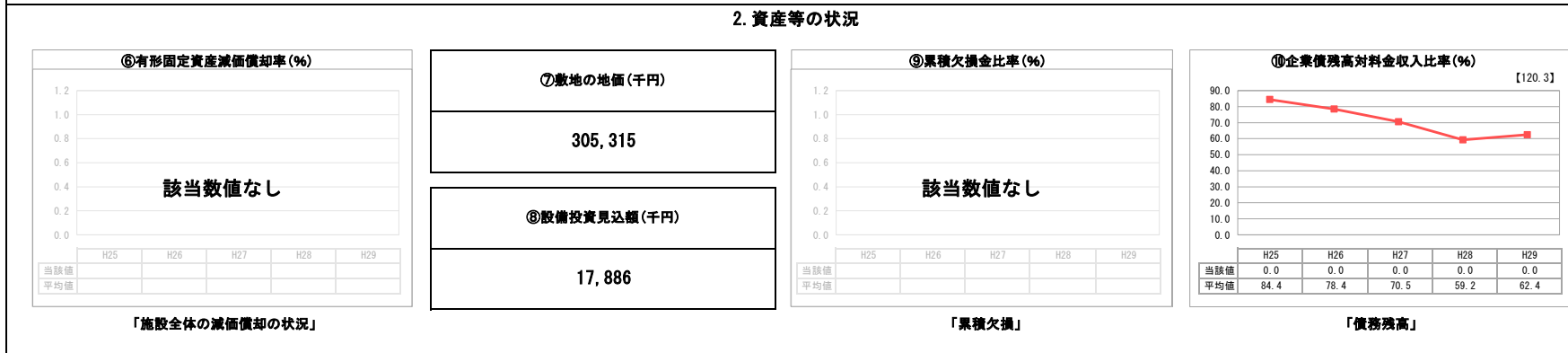


分析欄

1. 収益等の状況について
 ・収支比率は類似施設と比べ下回っている。なお、他会計補助金比率や駐車台数一台あたりの他会計補助金額が類似施設平均を上回っているのは、当事業が指定管理者制度を導入しており、駐車場の管理運営収益を納入金として普通財産で受け入れ、当施設の必要経費を普通会計からの補助金収入として経理しているためである。売上高GOP比率及びEBITDAが減少している理由は営業費用として賃借料（駐車場敷地）が計上されているためである。

2. 資産等の状況について
 ・有形固定資産は普通会計の財産として保有しており、減価償却等の経理は行っていない。しかしながら、老朽化は進んでいるため今後、計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について
 当駐車場は市街地中心部から少し離れており、外縁部駐車場として機能している。また、伝統的建造物保存地区にも近い。平日の利用者は主に定期利用者であるが、休日やイベント時には混雑する。大型バス駐車区画があるため、市内中心部の大型バス駐車場が満車時には市内渋滞の緩和としてバス誘導を実施している。



全体総括
 ・当事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が多く、主要道路の渋滞緩和対策として市街地周辺に設置しているものである。近年は民間駐車場が増加しているなど設置当初と状況は変わってきており、現在策定中の公共施設等総合管理計画の個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の定点実施や市街地の歩行者を含めた交通量調査を実施しており、より効果的な駐車場誘導体制の確立や安定した経営に努める。

経営比較分析表（平成29年度決算）

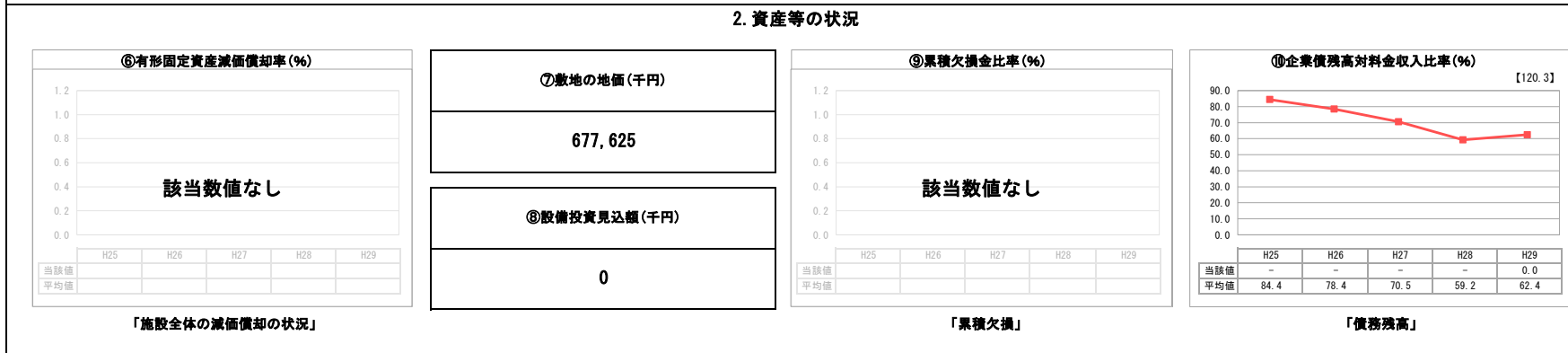
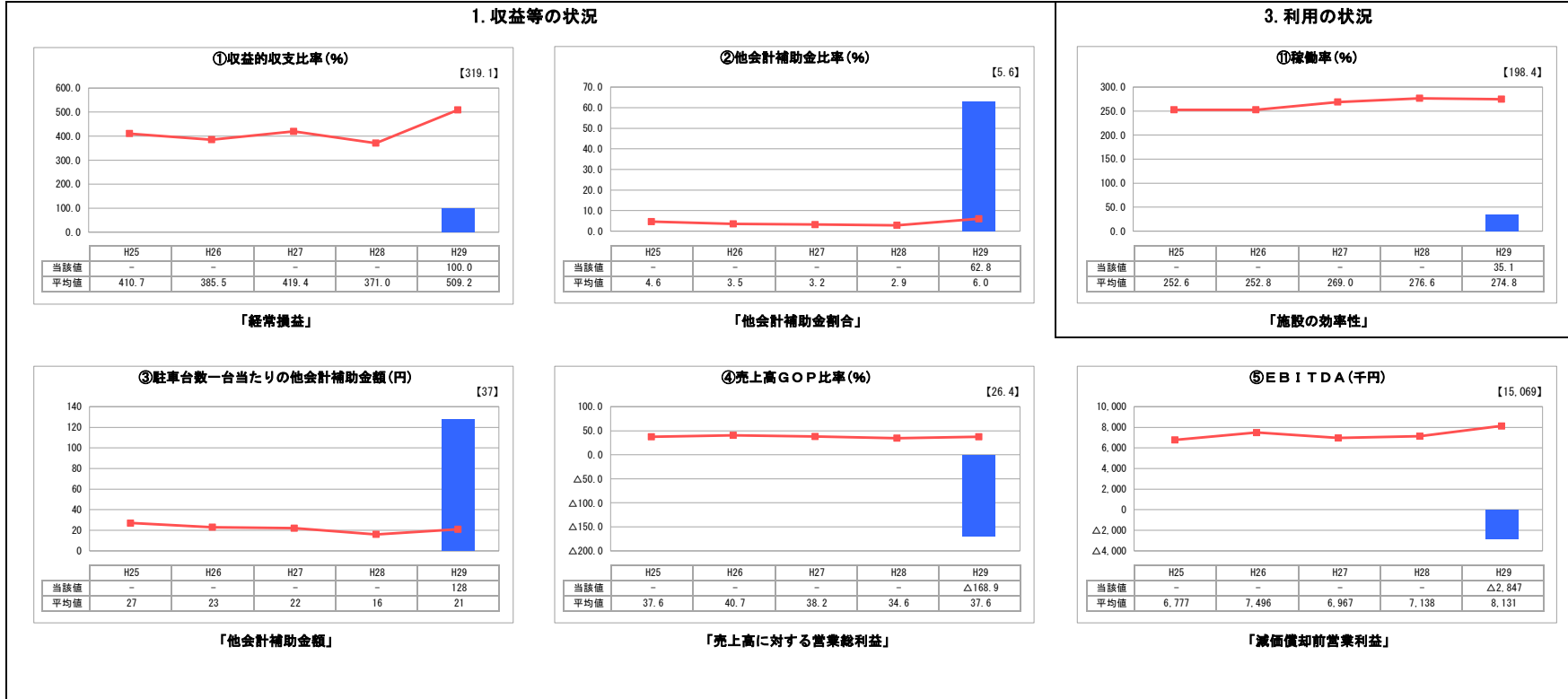
岐阜県高山市 高山駅西駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	1	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	有	5,421
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
174	300	利用料金制

グラフ凡例

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- 【】 平成29年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について
 ・収支比率は類似施設と比べ下回っている。なお、他会計補助金比率や駐車台数一台あたりの他会計補助金額が類似施設平均を上回っているのは、当事業が平成29年度に供用開始をおこなったことにより駐車場の管理運営収益を受け入れ、当施設の建設改良費など必要経費を普通会計からの補助金収入として経理しているためである。収益的収支比率、売上高GOP比率及びEBITDAが減少している理由は営業費用として委託料（駐車場管理費等）が計上されているためである。

2. 資産等の状況について
 ・有形固定資産は普通会計の財産として保有しており、減価償却等の経理は起こっていない。しかしながら、老朽化は進むため今後、計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について
 当駐車場は市街地中心部から少し離れており、外縁部駐車場として機能している。また、公共施設（駅、文化会館、福祉センター）に近く、平日の利用者は主に定期利用者と公共施設利用者であるが、休日やイベント時には混雑する。大型バス駐車区画があるため、市内中心部の大型バス駐車場が満車時には市内渋滞の緩和としてバス誘導を実施している。

全体総括
 ・当事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が多く、主要道路の渋滞緩和対策として駅周辺に設置しているものである。近年は民間駐車場が増加しているなど市内の状況は変わってきており、現在策定中の公共施設等総合管理計画の個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の定点実施や市街地の歩行者を含めた交通量調査を実施しており、より効果的な駐車場誘導体制の確立や安定した経営に努める。